

平成27年度

事業報告書

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

社会福祉法人 上越頸城福祉会

夕映えの郷

はじめに

わが国の超少子高齢化社会の本格的な到来を目前に、社会保障全体の改変が進んでおり、それに伴い、障害福祉・精神障害福祉の改革も多様な論議に揺れながら推移している。平成27年度では「障害者総合支援法」が施行3年目の見直しを前に、社会保障審議会障害者部会での論議を踏まえ、改正案がまとめられ、今通常国会に上程された。障害者総合支援法は「福祉」を名称から排し、精神障害者が地域生活を実現していくための実働的な方策の点で本来の福祉のスタンスとはかい離した形で進むことに地域生活支援の領域からの懸念が示されている。古い言い方でいうところの精神科医療が中心立って福祉をけん引する「医療モデル」の継承が続いており、障害を持つ当事者の権利擁護を基礎とする「本人中心モデル」としての精神障害者の地域生活支援の視点を絶やしてはならないと改めて顧みる。

また、精神保健福祉法の領域では、医療保護入院制度の見直しが行われ、保護者制度がなくなったものの、入院そのものの承諾を本人ではなく、「家族単独」から「家族等の同意」という要件が拡大されたことによって、結果として、本人の同意が取れない形でも非自発的入院が見直し前より、推進されてしまう方向を示している。さらに院内において、医療保護入院をした当初から退院に向けた専門要員の配置や退院検討会が制度として企画されたのだが、この実施状況と成果は未だ明らかにされていない。

このような平成27年度の状況下、夕映えの郷では「地域生活支援」への方向転換を図り、とりわけ、障害が重い方向に傾いた人への視点を中心に精神障害者が地域で安心な社会生活を続けるための活動の整備や調整に相当な時間と労力を費やした。また、精神科病院での長期入院者への退院支援の強化、退院後の住居確保の準備、医療との連携強化などが進められた。

夕映え耕房 実績報告

1. ニーズ調査

就労移行支援事業：利用期限内（2年）において就労を目指す意欲のある方への支援・就労継続B型事業：就労する前の体力作り、生活リズム作り、就労は考えていない

が少しでも働いてお金を稼ぎたい方、その他生きがいとして、居場所として利用する方への支援としての位置づけを明確化

2. 職員全体の定期的なミーティングの実施

常勤・非常勤等、立場や就労形態が異なる職員の意思統一や情報交換の機会の確保がなされたと共に、ケース検討を通して支援の質の向上がなされた。

3. 就職実績（就労移行支援）

目標数は2名。就職者は2名であった。

4. 工賃実績

県への届け出の1か月平均の目標額は14,000円。

平成27年実質額は16,540円と大幅に工賃向上が計られた。

（過去の実績）

平成24年度	9,500円
平成25年度	12,500円
平成26年度	13,564円

5. その他

- ・工賃計算の統一化
- ・作業内容の精査

飲食系作業においては、県の補助金を獲得しての高崎市事業所での現場実習を実施。また、施設外就労（ナショナルカントリー）の作業が通年行われるようになる。しおさいの里洗濯作業においては、洗濯乾燥機の老朽化に伴い設備の買い替えがなされ、作業効率が上がっている。

こころ場実績報告 (自立訓練(生活訓練)・宿泊型自立訓練・生活介護)

1. 利用者の地域移行実績

◇自立訓練(生活訓練) 4名

内訳 生活介護へ移行 2名

就労継続B型 1名

他事業所へ移行 1名

◇宿泊型自立訓練 4名

内訳 民間アパート 1名

グループホーム 3名

2. 支援実績

- ① 潜在的利用者数の調査は出来ていない。だが、事業所間の横断的な試みとして、男の時間、「ぶち☆ぴあ」等の活動が形になってきている。
利用増進については、長期入院患者の体験受け入れを行っている。
- ② 利用前後で本人、ご家族、関係者で話し合い、本人の意思決定と意向の確認を大切にしておこなっている。また、発達障害・触法障害者等利用希望についての相談も受けているが、利用に至っていない。
- ③ 日中の生活訓練は、1～2ヶ月でプログラムの予定を立て、見通しを持った支援を行った。また、昼食調理等個別支援を重点的に行うことが出来た。
- ④ 訪問型については、現在利用者が増えていない状況。ニーズはあるが、マンパワーが足りていない。
- ⑤ 生活介護の利用者数が2名から5名に増えた。そのため、看護師との連携を強化し、爪切りを行っていただいたり、個別の健康相談を行った。また、区の保健師に来ていただき、健康診断の結果をもとに健康講座を開催した。顧問医とのカンファレンスも定期的に継続中。
- ⑥ 支援をする中で困難さを感じるケースについては、顧問医とのカンファレンスで助言を受けたり、職員間での共有を重視した。
- ⑦ 職員の資質向上、虐待防止については、通常業務の中での確認を行っているが、チェックリスト等を用いたケアが必要だと思われる。

住居サポートcocoまあぶる 実績報告 (共同生活援助：グループホーム)

1.利用状況 平成28年3月末

○みどり荘	定員5名	現在数4名
○犀浜荘	定員6名	現在数6名 (H27年度 1名増)
○コーポあおぞら	定員6名	現在数5名 (H27年度 1名減)
○九戸浜亭	定員4名	現在数4名 (H27年度 1名増)
○コーポとわのもり	定員7名	現在数7名 (H27年度 2名増)
全体	定員28名	現在数26名

2.支援実績

- ① 平成27年9月より、九戸浜亭ぬまさんちで調理員による朝・夕食提供を始めた。これにより、長期入所となっていた方が地域移行することが出来た。食事支援に合わせて服薬支援を行うことが出来るため、病状の安定を図ることが出来る。
また、利用者の状態変化に対応して3名の区分認定の再調査依頼をし、非該当→区分3
非該当→区分4 区分3→区分4に変更された。区分が上がったことで、報酬単価も増額となっている。
- ② 地域の防災訓練に参加したり、夕映えの機関誌を定期的に配布することで、地域交流を図っている。
- ③ 3名の方が、さいがた医療センターの訪問看護の利用を開始した。その場に同席し、健康面や服薬状況を確認している。また、内科的疾患をお持ちの方もいらっしゃるので、健康診断を通じて、区の保健師と連携を強化している。
- ④ アパートでの生活を希望される方へは積極的に支援を行い、27年度は1名がアパートへ地域移行されている。

つながり支援センター木もれBe 実績報告

1. センター登録者数

登録者数：77名（未登録ではあるがかかわりのあった方の実数：115名）

2. 支援実績

- ① 人と地域との接点をもてることへの支援
- ② 当事者主体の活動を創出する
- ③ 事業所の垣根を越えた横断的組織による支援

3点をねらいに支援活動を実施。

個別支援

引き続き、「つながり支援」をモットーに支援を展開した。通常の日常生活相談を受けての生活支援をはじめ、精神科長期入院患者の地域移行や、行政等から紹介を受けての処遇困難ケースなどの相談が多く入り、計画相談支援事業からの要請で、協働で地域生活支援を行った。地域活動支援センター専門職員が専従配置になったことで混乱が軽減した。

活動支援

企画書の活用により、さらに当事者主体での活動が企画・運営された。啓発活動の一端を担うべく地域イベントや、看護実習生や福祉実習生とのやりとりができる機会を多くもつことで、当事者の社会参加が図れた。

ナショナルカントリーの作業に初めて有志で参加。活動費の一部を作業工賃で賄っている。

ピア活動

ピアサポート講座の受講利用者よりもっと語る場が欲しいと月1回「ぷち☆ピア」を実施。県内の研修会での発表など活動場が広がった。

その他

- ・定例の家族の集いの実施
- ・希望の夕映え（広報誌）を利用者主体で編集作成
- ・地域交流活動（ふくしのひろば、ふれあいフェスタ、かっぱ祭り等）
- ・ボランティアの受け入れ
- ・事業所の垣根を越えたグループ活動の実施 等

夕映えの郷 相談支援 実績報告

(計画相談支援／地域移行・地域定着支援)

1. 指定特定相談支援

- ・平成27年度 計画相談支援 125名
- ・たとえば夕映えの郷の一つの事業を利用する場合、サービス利用を申し込まれた方やすでに利用継続している方に対してサービス利用計画書を作成し、就労、生活全般、将来、老後などの多くの場面に対応していくように主導することがこの事業の目的。
- ・しかし、サービス利用に結びつくまでに長い時間を必要としたり、障害福祉の制度上で対応できないような個別対応が必要なケースを扱うことが多く、このいずれも事業報酬の対象にはならないため、マンパワーの確保という大きな課題が存在する。
- ・具体的には相談支援を行う相談支援専門員の確保という課題なのであるが、国・市町村の報酬単価のあり方の課題がある。
- ・新しく相談支援事業を開始する法人は少なく、したがって相談支援専門員数も伸びていない。今後、依頼数と相談支援事業所の間では飽和状態になることが予測される。
- ・また、報酬対象にならないケースを手掛けられず、切り捨てることも予測される。
- ・平成27年度では相談支援を専任体制によって行ってきたが、次年度以降の体制のために実務検討が必要である。

2. 指定一般相談支援

- ・平成27年度 地域移行支援 2名
- ・地域定着支援 2名
- ・精神病院や入所施設で1年以上の入院・入所されている方が退院・退所をしたいという意思に基づき、地域生活を実現し、地域に定着した暮らしができるよう計画し、モニタリングしていくが目的である。
- ・精神科病院に長期入院をされている方の実態は退院をしようとする意思を失ってしまっているという特徴がある。ご本人が退院をしたくないといっている、退院後の地域の福祉体制が整っていないため、生活を支えられないので現状の入院対応をしているというのが医療側のスタンスのようである。
- ・地域の福祉サービスの事業所が腹を決めて、地域の中に長期入院者を受け入れることが最も望まれる。
- ・相談支援に必要なのは、退院の意欲を失ってしまったり、あきらめている方に、退院の意欲を新しく形成することである。このことを今後実践していく必要を得た。

平成27年度夕映えの郷 事業別利用実績(4～3月)

1. 夕映え耕房

就労移行支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延人数	89	101	118	126	131	109	120	81	70	64	83	93	1,185	99
実数	6	6	7	7	7	7	7	5	5	5	5	5	72	6
開所日数	21	20	22	22	21	21	21	19	21	20	20	22	250	21
利用定員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
利用率%	70.6%	84.2%	89.4%	95.5%	104.0%	86.5%	95.2%	71.1%	55.6%	53.3%	69.2%	70.5%	79.0%	79.0%

就労継続支援B型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延人数	405	411	462	444	428	437	452	406	438	436	476	541	5,336	445
実数	28	29	29	29	30	29	29	31	32	32	33	32	363	30
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	31
利用定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
利用率%	67.5%	66.3%	77.0%	71.6%	69.0%	72.8%	72.9%	67.7%	70.6%	70.3%	82.1%	87.3%	72.9%	72.9%

2. こころ場

自立訓練(生活訓練)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延人数	225	244	223	231	234	229	216	187	208	248	221	232	2,698	225
実数	16	16	17	17	17	18	15	16	15	16	15	16	194	16
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	270	23
利用定員	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
利用率%	73.1%	75.8%	72.4%	71.7%	72.7%	74.4%	67.1%	60.7%	64.6%	77.0%	75.2%	72.0%	71.4%	71.4%

宿泊型自立訓練

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延人数	311	321	286	275	273	295	274	237	268	316	313	335	3,504	292
実数	11	11	10	9	9	10	9	9	10	11	11	11	121	10
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	31
利用定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
利用率%	51.8%	51.8%	47.7%	44.4%	44.0%	49.2%	44.2%	39.5%	43.2%	51.0%	54.0%	54.0%	47.9%	47.9%

生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延人数	44	35	43	40	39	38	46	41	32	19	35	55	467	39
実数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	5	39	3
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	270	23
利用定員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
利用率%	33.3%	25.4%	32.6%	29.0%	28.3%	28.8%	33.3%	31.1%	23.2%	13.8%	27.8%	39.9%	28.8%	28.8%

3. 住居サポート cocoまあぶる

共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延人数	691	700	714	735	730	699	731	718	761	762	744	793	8,778	732
実数	24	24	24	24	24	24	25	25	25	26	26	26	297	25
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	31
利用定員	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
利用率%	82.3%	80.6%	85.0%	84.7%	84.1%	83.2%	84.2%	85.5%	87.7%	87.8%	91.6%	91.4%	85.7%	85.7%

事業・職種別職員数一覧

H28.3.31現在

職種別	事業別	就労支援	自立訓練	グループホーム	地域活動支援センター	相談支援	合計
統括施設長	正職員			1			1
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	0	0	1	0	0	1
管理者	正職員	1	1			1	4
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	1	1	0	1	1	4
事務員	正職員		1				1
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	0	1	0	0	0	1
主任 (サービス管理責任者)	正職員						0
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	0	0	0	0	0	0
就労支援員	正職員	1					1
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	1	0	0	0	0	1
職業指導員	正職員	1					1
	臨時職員	2					2
	パート職員						0
	合計	3	0	0	0	0	3
生活支援員	正職員	2	3	1			6
	臨時職員	1	1				2
	パート職員						0
	合計	3	4	1	0	0	8
地域移行支援員	正職員	1					1
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	1	0	0	0	0	1
世話人	正職員			1			1
	臨時職員			1			1
	パート職員			10			10
	合計	0	0	12	0	0	12
専門職員	正職員					2	2
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	0	0	0	2	0	2
相談員	正職員					1	1
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	0	0	0	0	1	1
宿直員	正職員						0
	臨時職員						0
	パート職員		4	4			8
	合計	0	4	4	0	0	8
夜間支援員	正職員						0
	臨時職員						0
	パート職員			1			1
	合計	0	0	1	0	0	1
送迎運転手	正職員						0
	臨時職員						0
	パート職員	3					3
	合計	3					3
清掃員	正職員						0
	臨時職員						0
	パート職員		1				1
	合計	0	1	0	0	0	1
合計	正職員	6	5	3	3	2	19
	臨時職員	3	1	1	0	0	5
	パート職員	3	5	15	0	0	23
	合計	12	11	19	3	2	47

職員の動向等

1. 採用の状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日、平成27年4月1日付採用内定者含む)

	職業指導員	生活支援員	世話人	事務職員	送迎運転手	計
応募者数	1	1	4	3	1	10
採用内定者数	1	1	4	1	1	8
採用辞退者数	0	0	0	0	0	0
本採用者数	1	1	4	1	1	8

雇用形態	正規	臨時	非常勤
	3		5

2. 退職の状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

退職者数	管理者	サービス管理責任者	事務職員	運転手	計
	1	1	1	1	4

雇用形態	正規	臨時	非常勤
	3		1

職員資格取得状況一覧(述べ数)

資格・免許	平成28年4月1日現在	平成27年4月1日現在
社会福祉士	6	6
精神保健福祉士	12	12
介護福祉士	0	0
ホームヘルパー1級	0	0
ホームヘルパー2級	5	5
介護支援専門員	0	0
クリーニング師	1	1
調理師	0	0
初級園芸福祉士	1	1
言語聴覚高度専門士	1	1
移動介護従事者	1	1
保育士	2	2
幼稚園教諭2級	2	2
サービス管理責任者研修受講修了	5	7
相談支援従事者初任者研修受講修了	10	11
相談支援従事者現任者研修受講修了	2	2
計	48	51

平成27年度施設外研修等一覧

日付	研修会名	主催	場所	参加者	参加人数
6/26	新潟県社会就労センター 総会・研修会	新潟県社会就労センター	新潟市	管理者	2
7/16・17	全国精神障害者地域生活支援協議会 全国大会	全国精神障害者地域生活支援協議会	三條市	管理者、事務、支援員	11
10/21	社会福祉施設事務員研修	新潟県社会福祉協議会	新潟市	事務員	1
11/8	リカバリーとピアサポートに関する研修・交流会	新潟県	新潟市	主任、支援員	2
11/13	サービス管理責任者養成研修	新潟県	新潟市	支援員	1
11/27	新潟県精神障害者社会福祉施設協議会 共通研修	新潟県精神障害者社会福祉施設協議会	新潟市	管理者、支援員	2
11/28	全国精神障害者地域生活支援協議会 北陸B研修	全国精神障害者地域生活支援協議会	石川県	支援員	1
12/10	サービス管理責任者養成研修	新潟県	新潟市	支援員	1
12/14～18	配食業務 先進事業所現場実習(県補助金対象)	(社福)プライム	群馬県	管理者、事務、支援員	4
1/14・15	サービス管理責任者養成研修	新潟県	新潟市	支援員	1
2/15	福祉マンパワー講習会	新潟県精神障害者社会福祉施設協議会	長岡市	支援員	2
2/19	精神保健福祉合同実践セミナー	新潟県精神保健福祉センター	新潟市	管理者、主任	2
2/26	新潟県精神障害者社会福祉施設協議会 施設長研修	新潟県精神障害者社会福祉施設協議会	新潟市	管理者	1
2/25・26	サービス管理責任者養成研修	新潟県	新潟市	管理者	1
3/9	サービス管理責任者フォローアップ研修	新潟県	新潟市	管理者	1
3/10	精神障害者地域移行強化研修	新潟県精神保健福祉センター	新潟市	管理者	1
3/20・21	精神保健福祉士 実習指導者講習会	新潟青陵大学	新潟市	主任、支援員	2
3/22	障害者総合支援法 主管課長会議等説明会	新潟県	新潟市	管理者	1
3/29・30	障害者福祉 先進事業 実地研修	NPOあおほ福祉会 NPOこのほ	東京都	管理者、支援員	5
					42